

水虫の症状

水虫は症状によって小水疱型、趾間型、角化型の3つに分類できます。白癬菌が爪まで食い込むと、爪水虫になります。

梅雨から夏に特にあられやすい



小水疱型
水泡ができる
かゆい



趾間型
指の間がただれる
じめじめする

注意

これらの水虫は、秋には自然と治ったようにみえますが、白癬菌は角質の中に残って休んでいます！この段階で治しておくことが大切です。

ひどくなると…



角化型
足の裏が厚くなり、
ひどくなるとひび割れる



爪水虫
爪が白くにごって変形し、
もろくなる

このような症状があり、皮膚や爪から白癬菌が見つかったら、「水虫」と診断されます

水虫を長引かせないために
～お薬は診断を受けてから～

1 病院でもらったお薬を使う

水虫に似たような症状が出て、お薬や対処法が違って、いる病気が、他にたくさんあります。
「水虫だと思って」、「水虫ではないと思って」、自己判断で市販のお薬などを使うと、悪化させてしまう可能性があります。

2 継続して使う

皮膚の角質層は、約1ヵ月で新しいものに入れ替わります。お薬で白癬菌を退治し、完全に追い出すためには、この入れ替わりがポイントです。新しい角質層に白癬菌を入り込ませないために、お医者さんの指示に従って、お薬は使い続けましょう。

医療機関

水虫を知って
理解して
治療する

Let's 水虫治療

水虫の治療では、
気をつけることがたくさんあって
めんどくさいと思いませんか？
それらはすべて水虫の原因である
白癬菌の特徴に関係しています。
しっかりと治すために、白癬菌のことを知り、
ポイントをつかんで、治療しましょう！

〔監修〕

東京医科大学 皮膚科学分野 主任教授
坪井 良治 先生

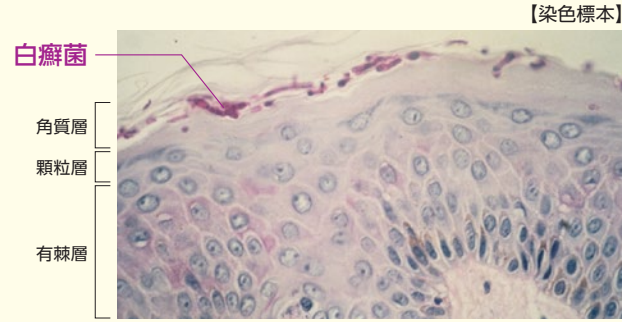
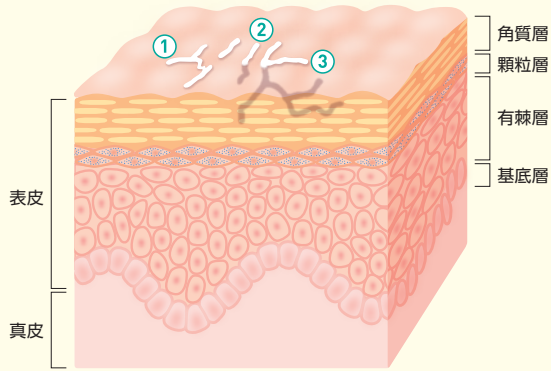
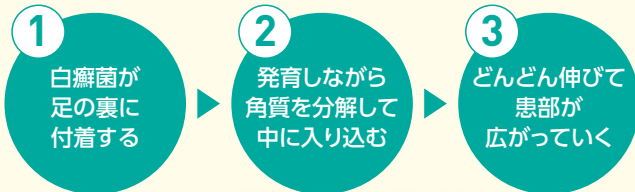
提供：岩城製薬株式会社

2015年5月作成

IWAKI SEIYAKU CO., LTD.

白癬菌の付着と感染

水虫は真菌の仲間である「白癬菌」が足の裏の角質層に付着し、住みつくことで起こる感染症です。白癬菌は足の裏以外にも、頭、手、手足の爪、体部、股部にも感染します。白癬菌が感染した部位によって、異なる病名がついています。



角質層の中に赤く染まった白癬菌がみられます(前腕部)

白癬菌は温度が25~37℃、湿度が高い環境で特によく育ちます

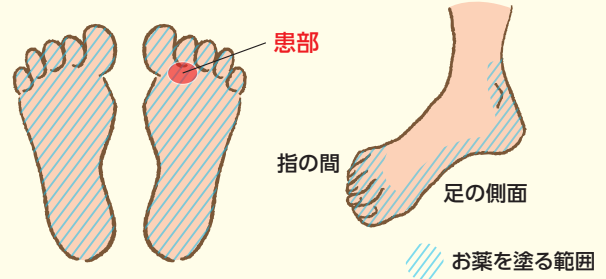
水虫の治療

水虫治療のポイントは、患部を清潔に保つことと、病院でもらったお薬を正しく使うことです。

お薬の使い方

ぬり薬

- ① お風呂上りに、足の裏をよくふき、乾燥させます。
- ② 白癬菌は患部以外にも潜んでいる可能性があります。そのため、お薬は足の裏全体、足裏の側面、指の間など、全体に塗ります。症状が片足だけでも、両足に同じように塗ります。



飲み薬

ぬり薬では治りにくい水虫には、飲み薬が処方されることがあります。

足を清潔に保つには

- 靴を脱ぐ時間をつくる。(職場では靴をはきかえるなど)
- 帰宅後には足を洗う。
- 毎日同じ靴をはかない。
- 通気性の良い靴下をはく。



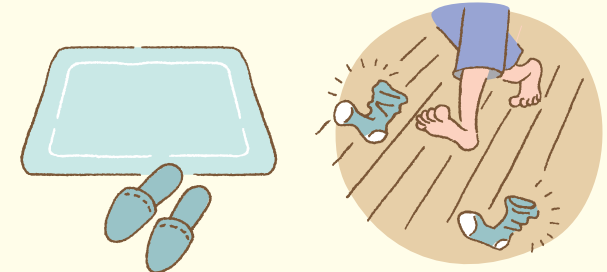
足の洗い方

- ・石鹸を使って、指の間も丁寧に洗う
- ・足の裏や指の間を傷つけないように、やさしく洗う。
- ・石鹸の成分が残らないよう、しっかりと洗い流す。

水虫の再発を防ぐには

白癬菌は水虫患者の足の裏から落ちて広がります。お薬でしっかりと白癬菌を退治し、白癬菌とあらたに触れる機会を減らすことが再発防止になります。

こんなことに注意しましょう



足ふきマット、スリッパなどを共有しない*
*プールなどで共有の足ふきマットを使ったら、家でよく足を洗う

家の中を素足で歩かない
はいた靴下は放っておかず洗濯する



こまめに掃除をする

家族も皮膚科を、ペットも動物病院を受診する

水虫は治療後も注意が必要です